

令和 4 年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 北九州文化学園 第二文化幼稚園

1. 本園の教育目標

- 心も体も健康で、たくましく粘り強い子に育てる。
- 自立心や協調性を育て、思いやりや善悪の判断が出来る子に育てる。
- 自然など身近なものへの興味や関心を育て、豊かな心、考える力を持った子に育てる。
- 言葉への興味・関心を育て、自分の思いを話したり、人の話が聞ける子に育てる。
- 体験を通して、感性に富み、創造性豊かな子に育てる

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育目標を教職員間で確認し、共通理解を図る。又、保育内容、カリキュラムの見直しをし、コロナ禍の中でも、創意工夫をすることにより、質の高い保育を子どもたちに提供することを目標とする。又、保護者の方との連携をとり、信頼関係を深める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保護者との連携	A	保護者の来園の機会が減少しているため、電話や面談等で、こまめに園児の園での様子や気になる事等を伝え、保護者の方と連携をとり、信頼関係構築に努力した。
安全教育	B	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、対策をさらに強化し、安全確保のために全職員で取り組むことができた。
研修	B	Zoom 研修には積極的に参加した。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	教職員間の工夫により、三人行事をコロナ禍前に少し近づけた形で行うことができた。日頃の保育をハグノートアプリで日々配信することで、園での様子を公開し、保護者の方に安心してもらえた。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育の向上	気になる子供、支援の必要な子供への個別支援計画を作成する。
安全・衛生	マスク不要となり、メリットも増えるが、引き続き感染予防に努める。
研修	研修に参加しやすい体制作りをしていきたい。そして園内研修を増やし、職員の資質・意識の向上や組織力の向上に努めていきたい。

6. 学校関係者評価委員会の評価

世の中で騒がれた、バス置き去り事故や不適切保育。不安に思わない保護者はいないと思われる。コロナ禍になり、幼稚園から日々の保育内容等をこまめに配信してくれるようになり、幼稚園での様子が公開され、嬉しく思う。これからも、連携をしっかりと取り、一層努力・工夫を重ねてほしい。

学校関係者評価委員
学校関係者評価委員
学校関係者評価委員